

てある。日本鑛夫組合の死活問題も本争議は又總同盟の大問題である。

本争議は、最早や最後の決戦に臨んでゐる。狼狽せる會社の悪辣なる術策も既に盡きた。只我々等は争議團最後の結末を望み、資金と充實して決死の闘士を激勵し、以て頑迷なる住友と目し物見さんのみである。

各組合及支部諸兄よ。組合権の確立を目標として悪辣なる住友の切崩した對抗して起つて別子大争議は今や總同盟の全力的決戦によつて最後の運命を決すき瀬戸際にある。茲に總同盟中央争議部は組合員諸君相互扶助の熱情に訴へ本争議資金の充實を計る為めに各組合が奮って右資金の醜出を尤も急速に断行せられ、總同盟全員の威力を如實に天下に示さん事を切望するのである。

大正十五年一月七日

日本労働總同盟 會長 鈴木文治
中央争議部 部長 望月源治

▲別子争議資金受附所

廣媛縣新居郡 角野村 日本鑛夫組合別子支部宛

芝丘三田四國町三ノ六 日本労働總同盟中央争議部宛

▲資金は纏まり次第直ちに電報を以て送附する。

●早速之を印刷に付再送附いたします。